

2026年3月

# 年間活動報告書

2025年版

外国為替市場発展のために

東京外国為替市場委員会

(Tokyo Foreign Exchange Market Committee)



2026年2月12日撮影

## 目次

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 巻頭の言葉            | P 4  |
| 2. 小委員会報告           | P 6  |
| 3. 東京外国為替市場委員会委員等名簿 | P 16 |

## 1. 巻頭の言葉

東京外国為替市場委員会議長 井上吉康

2026 年 2 月

2025 年は、1 月にトランプ米新政権誕生、本邦では 10 月に、約四半世紀続いた自公連立与党の枠組み解消を伴う、高市新政権が誕生しましたが、いずれも金融市場へ大きなインパクトを与えることとなり、為替市場は大きく変動致しました。

トランプ新政権は MAGA (Make America Great Again) の旗印の下、相互関税政策により自由貿易体制の概念に変化をもたらし、また、自国利益優先ともとれる国家安全保障戦略は世界各国の国防戦略を大きく転換させるに至っています。これらは、サプライチェーン見直しや投資家の運用ポートフォリオ見直しを促し、基軸通貨ドルからの他通貨分散が中長期的な市場テーマとなるもとの、グローバルなドル安相場観のベースになっているように思われます。

奇しくも相互関税が公表された 4 月は、3 年に 1 度の BIS の Triennial Survey の対象月でありました。グローバルに見た外国為替市場では、ドルの先安観の強まりとボラティリティ上昇を受けて、短期勢による売買や機関投資家等による為替ヘッジが積極的に行われ、取引高は前回調査対比大幅に増加し、過去最高を更新しています。

一方で、本邦の市場参加者にとってドル安以上に特徴的であったのが、高市政権発足を大きなきっかけとした円安進行でした。「責任ある積極財政」推進は、日株買い・円債売り・円売りの所謂「高市トレード」を活発化させることとなり、衆院解散総選挙を控えた先月のタイミングで一時 159 円台を示現するまでの円安を見ております。日米金融当局の緊密な連携が伝わり、足許ではドル円建値での高値波動的な様相を呈していますが、先の衆院総選挙与党圧勝を受けた本邦金融財政政策の行方から目が離せない展開が続きそうです。

さて、本年度、東京外国為替市場委員会として我々が取り組んできたことと致しましては、2025 年 1 月に「FX Global Code December 2024」が GFXC より公表されたことを受け、「グローバル外為行動規範 2024 年 12 月」及び「グローバル外為行動規範 2024 年改定の概要」を 2025 年 3 月に公表致しました。既存遵守先に対し、改定内容について周知し再遵守を推奨し、再遵守に向けたフォローおよび最新版への再遵守表明の受付に鋭意取り組んでおります。今後ともご協力の程宜しくお願い致します。

また、GFXC では、グローバルで事業法人からの遵守表明の進捗が進まない事を課題と認識し、Adherence Working Group を立ち上げ、事業法人に向けた働きかけの強化を図っています。欧米では徐々に事業法人の皆様からの遵守表明も始まっておりまして、東京外為市場委員会としても鋭意取り組みを始めております。

市場参加者に向けた教育活動という観点では、日本フォレックス・クラブと共同で外部講師をお招きしてセミナーを開催しております。2025 年も2度、セミナーを開催しまして、著名なストラテジストの皆様によるパネル・ディスカッション形式含め、複数テーマを取り上げており、大変好評を頂いております。2026 年以降も、市場参加者の皆様に気づきがありますような会が開催できましたらと思います。

引き続き 2026 年も、各国金融政策変更期待のほか、各国財政政策の持続性、中央銀行バランスシート圧縮による過剰流動性の解消などをテーマに為替が変動していくものと思われまます。地政学的な不確実性も極めて高い状況は続いており、今年も気の抜けない1年になることは間違いなさそうです。

東京外国為替市場委員会では、引き続き公正、健全な東京外国為替市場の発展の為、活動して参ります。多くの東京外国為替市場参加者の皆様、セルサイド、バイサイドを問わず、皆様方からの多大なるご協力ありましての活動となります。日頃のサポートに関して心から感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご鞭撻賜れますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

以 上

## 2. 小委員会報告

### 運営小委員会

#### I. 委員会概要

- 運営小委員会は、東京外国為替市場委員会(以下「本委員会」)の円滑な運営のために、以下の実務的な機能・役割を担っている。
  1. 委員の選任・退任に関わる事項
  2. 役員の改選に関わる事項
  3. 本委員会において議論・検討すべき事項の確認、意見交換等
  4. 会計監査の輪番運営に関わる管理
  5. その他、本委員会の運営に関する事項

#### II. 活動報告

2025 年は主に以下の活動を行った。

- プロセスに沿って、本委員の選任および役員の改選について確認。
  - ✓ 委員の退任に伴う新委員の選任(4 名)
- 「本委員会において議論・検討すべき事項」として、主に以下の項目について確認、意見交換。
  1. 各小委員会からの活動報告
  2. GFXC の活動内容報告並びに活動内容報告へのフィードバック
    - ・グローバル外為行動規範(以下「グローバルコード」)改定を踏まえた再遵守表明の促進・進捗管理
    - ・事業法人への周知と遵守促進
    - ・副議長職の募集・選任
    - ・その他
  3. 各小委員会における委員交代の情報共有
  4. 市場委員会の会計監査の輪番制採用
  5. フォレックス・セミナー

#### III. 今後の課題

- グローバルコード改定に向けた取り組み継続

以 上

## 広報小委員会

### I. 委員会概要

- 広報小委員会は、本委員会の活動を為替マーケットの参加者のみならず、社会に向けて発信することを目的として活動している。主な情報発信手段として本委員会のホームページに以下のような情報を掲載し、必要に応じ内容を更新している。
  1. 「邦文会合議事録」および「年間活動報告書」
  2. セミナー開催など委員会活動に関する情報発信
  3. 「コード・オブ・コンダクト」およびその更新
  4. 本委員会のメンバー、組織等
  5. 当委員会作成の公表文書
- また、グローバルコードの遵守促進の支援などを目的にメディア各社との連携を深めると同時にホームページの運用に関しては、サーバーの見直しやレイアウトの変更など利用者の利便性を重視しつつ、低コストの運用を心がけている。

### II. 活動報告

- 2025 年は以下の点を重点的に実施した。
  1. 2024 年 10 月中および 2025 年 4 月中の外国為替取引を対象とした「東京外国為替市場における外国為替取引高サーベイ(以下、東京市場サーベイ)」の調査結果をホームページに掲載した。
  2. 「グローバル外為行動規範 2024 年改訂の概要」をホームページに掲載した。
  3. 「ファンド為替 PVP 化プロジェクト・チーム活動及び成果にかかる報告書」及びその要約版をホームページに掲載した。
  4. 「比例原則適用に関する自己評価ツール(日本語版)(英語版)」を掲載した。
  5. 「グローバルコード遵守意思表明先」のアップデートを都度掲載した。
  6. ゴールデンウィーク、クリスマス、年末年始などについて注意喚起の文書をホームページに掲載した。

### III. 今後の課題

- 引き続き本委員会の情報発信・収集のニーズを理解し、適切かつ低コストのホームページの運営を行う。また、各小委員会の広報に関するニーズを把握し、情報発信機能の強化を図る(マスコミによるインタビュー等)。

以上

## 教育小委員会

### I. 委員会概要

- 教育小委員会は、フォレックス・セミナー等の実施を通して、東京外国為替市場に関わる人材の育成や新しい知識の普及に努める役割を担っている。

### II. 活動報告

- 日本フォレックス・クラブ協賛で開催してきたフォレックス・セミナーは、2025年2月17日(月)と9月1日(月)の2回、会場形式とオンライン形式を併用して開催した。2026年についても、2月9日(月)と9月7日(月)の2回の開催を予定している。
- アメリカ政府の政策転換に伴う地政学リスクの高まりやそれが世界経済に与える影響等、外為市場参加者の関心が高いテーマやパネル・ディスカッションを開催し、従来のテーマにとらわれないコンテンツを提供した。

### III. 今後の課題

- 引き続き金融業界においても、リモート・ワークやオンライン・ミーティング活用の定着等、働き方の多様性が想定される事から、当小委員会のみならず本委員会全体に係る活動、すなわちセミナー開催・情報提供・注意喚起・イベント開催通知等を電子化すべく、引き続き必要な体制整備を進めていく。
- 東京外国為替市場及び金融市場全体のニーズに合致した、セミナーや勉強会等コンテンツの企画・開催を続け、東京外為市場参加者の見識を高からしめ、以て東京外国為替市場全体の活性化を支援していく。

以上

## 法律・コンプライアンス小委員会

### I. 委員会概要

- 法律・コンプライアンス小委員会は、本委員会からの調査依頼があった事項等について、法令・規制・社会規範・倫理・道徳といった観点から問題を検討し、本委員会に報告、提言する役割を担っている。主な検討事項や活動内容は以下のとおり。
  1. 外国為替市場その他国際金融市場における取引慣行や行動規範について、独禁法等の観点からの確認
  2. 本委員会の諸活動について、営利活動から隔離されていること、取引公平性や自由競争を阻害しないことの確認
  3. 将来顕在化が想定されるテーマについての先行的な情報収集、分析
  4. その他、本委員会から調査依頼があった事項への対応

### II. 活動報告

- 本年度は特筆すべき活動はなし。
- (周知)東京外国為替市場委員会・競争法遵守自主ガイドラインについて。本ガイドラインは、2021年6月の制定時に自主ガイドラインという趣旨に鑑みてHPでは公表せず、定期的に委員会メンバーにリマインドする方針としたため以下に再掲。



東京外国為替市場  
委員会 競争法遵守

### III. 今後の課題

- 競争法遵守等に関して当委員会での法律・コンプライアンス上の論点や追加検討課題があれば適宜対応。
- その他本委員会から調査依頼のあった事項について調査・検討の実施。

以上

## 市場調査小委員会

### I. 委員会概要

- 市場調査小委員会の主な活動として、本委員会による東京市場サーベイを定期的実施し、海外主要市場の市場サーベイとの情報共有化を行うとともに、その内容について考察を行い、金融環境や市場の質・量の変化に対する分析を実施している。

### II. 活動報告

- 東京市場サーベイを4月及び10月に実施。
- 東京市場サーベイの公表フォーマット等を変更
  - 記者レクを廃止し、資料配布に変更
  - 発表タイミングの変更(諸外国の委員会と合わせる)
  - フォーマットを英語版と統合
- 東京市場サーベイに対する照会対応

### III. 今後の課題

- 海外主要市場やグローバルの各国市場委市場サーベイと東京市場サーベイの比較・分析調査の継続等を通じ、東京外国為替市場の特徴点や同市場の活性化に向けた取り纏めを実施する。東京市場サーベイの調査項目の拡充についても継続的に検討する。

以上

## Code of Conduct 小委員会

### I. 委員会概要

- Code of Conduct 小委員会は、健全なる外国為替市場の維持・発展を目的とし、「グローバル外為行動規範」および「東京外国為替市場における別冊」の作成・改訂を行う。
- 東京外国為替市場委員会が遵守すべきと考え、奨励する行動規範及び市場慣行を示す指針を作成する。
- 主にインターバンク取引における取引慣行遵守状況のモニタリングおよび新たに取り組むべき課題の認識に務める。

### II. 活動報告

- 2025年1月に「FX Global Code December 2024」が GFXC より公表されたことを受け、「グローバル外為行動規範 2024年12月 仮訳」及び「グローバル外為行動規範 2024年改定の概要」を2025年3月に公表した。
  - 既存遵守先に対し、改定内容について周知し再遵守を推奨
  - 再遵守に向けたフォローを実施、最新版への再遵守表明を受付
- 再遵守目途の2025年12月末時点で再遵守表明 92社／既存遵守先の再遵守比率 64%

### III. 今後の課題

- 引き続き最新版への再遵守フォローを行うと共に未遵守先への遵守促進を行う。また、次回改定に向けた情報収集に取り組む。

以上

## バイサイド小委員会

### I. 委員会概要

- バイサイド小委員会は、業態ごと不定期に開催していたバイサイド会合を、2016年より小委員会に発展したものを。
- グローバルコード策定をきっかけとして、これまでセルサイド中心としていた市場委員会の活動に、バイサイドの参画を呼びかけ、外国為替市場の公正で健全な発展に資するべく、より幅広い目線から各諸問題に関して討議、意見交換を行う。

### II. 活動報告

- 事業法人を中心に FX Global Code の周知と遵守を促進。
  - GFXC の Adherence Working Group と遵守促進に向けて意見交換
  - 本委員会で対応方針を決議し、事業法人に向けたレター及び送付先のリストを作成
- グローバルコードに日本語の自己評価ツールが掲載。

### III. 今後の課題

- 個別に事業法人へグローバルコードの遵守要請を行い、定期的なフォローアップを通じてグローバルコード遵守の意義への理解を促し、遵守先の拡大を図る。
- 市場慣行およびその他諸問題に対する討議、意見交換を継続すると共に、バイサイドの考え方の理解し、遵守に向けた効果的なサポート等を通じて、外国為替市場の安定的な発展のための活動を行う。

以上

## BCP 小委員会

### I. 委員会概要

- BCP 小委員会は、被災後の東京外国為替市場の機能維持と早期の機能回復を支援し、取引の混乱を市場全体として最小限に抑制するための市場レベルの「業務継続計画」を策定・運営する役割を担う。

### II. 活動報告

- 3 市場合同訓練の実施【11 月 12 日(水)】
  - 9 時 30 分被災想定にもとづき、「BCP-WEB を利用した双方向のコミュニケーション操作の習熟」と「自社の BCP 態勢確認」を目的に訓練を実施した。
- BCP WEB 登録内容変更用のフォーマット作成
- 市場レベル BCP の位置づけに関する整理
- 市場レベル BCP と FMI の関係性について 3 市場合同会合にて報告。

### III. 今後の課題

- 訓練アンケート結果を踏まえ、参加者へ普段の BCP 態勢整備を支援
  - またサイバーテロ対策等、時代の潮流を踏まえた規則およびマニュアルの見直しの検討を継続していく。
- BCP WEB 登録内容の変更連絡、操作方法等の周知
  - BCP WEB の登録内容に変更が生じた場合の更新連絡、BCP WEB の操作・運用について BCP 事業参加各社に定期的に周知していく。

以 上

## E・コマース小委員会

### I. 委員会概要

- E・コマース小委員会は、主に以下の項目について議論・考察を行うことで、E・コマースを取り巻く環境および新たなテーマについて理解を深め、東京外国為替市場の発展に貢献する役割を担う。
  - 1. E・コマースの現状把握
    - ✓ インターバンク取引及び顧客取引の電子化の状況
    - ✓ 電子取引ベニューの特色および課題
    - ✓ 店頭FX業者の取引動向
  - 2. E・コマースが外国為替市場に与える影響
    - ✓ 市場流動性、ボラティリティ
    - ✓ 取引環境、行動規範

### II. 活動報告

- 2025年は、活動実績なし。

### III. 今後の課題

- 外国為替電子取引(e-FX)の更なる発展に伴い、市場参加者の外国為替電子取引(e-FX)に関する幅広い知識と見識の共有に努める。
- その一環として、金融先物取引業界との意見交換の場を設け、FX 証拠金取引における課題や市場の健全性向上に向けた議論を進めていく。

以 上

## オペレーション小委員会

### I. 委員会概要

- 米国株式決済の T+1 化を契機に東京市場の安全・円滑なオペレーションを確保するべく、課題の共有やオペレーションの標準化を推進する役割を担う。

### II. 活動報告

- 2025 年は、小委員会を発足。
  - ・米国株式決済の T+1 化後の取引状況フォロー、欧州については導入に向けた対応、その他、オペレーション全般に関わる具体的活動内容の検討
  - ・コンファメーションの電子化等、要標準化オペレーションの発掘・提案

### III. 今後の課題

- 上記に関する課題についての継続的な共有と協議、新たな課題の発掘等について順次取り組む。

以上

### 3. 東京外国為替市場委員会委員等名簿（2026年2月12日現在）

#### <委員>

委員	役職	所属
井上 吉康	議長	モルガン・スタンレーMUFG証券
小橋 暁史	副議長	みずほ銀行
大澤 孝元	副議長	バークレイズ銀行
高田 良博	書記	日本銀行
星野 昭	委員	シティグループ証券
高山 典大	委員	野村證券
宗川 雄視	委員	リフィニティブ・ジャパン株式会社
時田 剛	委員	三井住友信託銀行
山崎 照永	委員	EBS / CME Group
平島 圭志	委員	CLS
田口 敬之	委員	三井住友銀行
十時 潤一郎	委員	上田東短フォレックス
小林 良平	委員	JPモルガン・チェース銀行
寺脇 一紀	委員	三菱UFJ信託銀行
井上 裕嗣	委員	BNPパリバ銀行
大熊 貴之	委員	野村アセットマネジメント
福田 京子	委員	オーストラリア・ニュージーランド銀行

#### <準委員>

星 義浩	準委員	マネーブローカーズアソシエーション
平元 景祐	準委員	日本銀行
南 英明	準委員	みずほ銀行
平田 拓也	準委員	三井住友銀行
野村 拓美	準委員	三菱UFJ銀行
由良 啓輔	準委員	バークレイズ銀行

#### <オブザーバー>

浅見 万葉	オブザーバー	財務省
-------	--------	-----

(注)敬称略(順不同)

<小委員会名簿>

常設小委員会	委員		所属
運営小委員会	委員長	寺脇 一紀	三菱 UFJ 信託銀行
	副委員長	大澤 孝元	パークレイズ銀行
		高田 良博	日本銀行
		平元 景祐	日本銀行
		小林 良平	JP モルガン・チェース銀行
		星 義浩	マネーブローカーズアソシエーション
		小橋 暁史	みずほ銀行
		南 英明	みずほ銀行
		田口 敬之	三井住友銀行
		平田 拓也	三井住友銀行
		井上 吉康	モルガン・スタンレーMUFG 証券
		野村 拓美	三菱 UFJ 銀行
		星野 昭	シティグループ証券
		高山 典大	野村証券
		松原 道彦	三菱 UFJ 信託銀行
	由良 啓輔	パークレイズ銀行	
広報小委員会	委員長	福田 京子	オーストラリア・ニュージーランド銀行
	副委員長	高田 良博	日本銀行
		山崎 照永	EBS / CME Group
		滝口 朋史	QUICK
教育小委員会	委員長	高山 典大	野村証券
	副委員長	十時 潤一郎	上田東短フォレックス
		小林 良平	JP モルガン・チェース銀行
		宗川 雄視	リフィニティブ・ジャパン株式会社
法律・コンプライアンス小委員会	委員長	時田 剛	三井住友信託銀行
	副委員長	寺脇 一紀	三菱 UFJ 信託銀行
		齋 雄太	みずほ銀行
		渡部 智	三井住友銀行
		中村 雄一郎	三井住友信託銀行
		柳澤 真梨恵	三菱 UFJ 銀行
市場調査小委員会	委員長	田口 敬之	三井住友銀行
	副委員長	井上 吉康	モルガン・スタンレーMUFG 証券
		大澤 孝元	パークレイズ銀行
		平島 圭志	CLS
		高田 良博	日本銀行
		嶋田 雅文	日本銀行
		平元 景祐	日本銀行
		並木 真修	日本銀行
		平田 拓也	三井住友銀行
		柳澤 真梨恵	三菱 UFJ 銀行
		小川 洗一郎	三菱 UFJ 銀行

常設小委員会	委員		所属
Code of Conduct 小委員会	委員長	小橋 暁史	みずほ銀行
	副委員長	井上 裕嗣	BNP パリバ銀行
		大澤 孝元	バークレイズ銀行
		高田 良博	日本銀行
		並木 真修	日本銀行
		南 英明	みずほ銀行
		北原 亘	みずほ銀行
		庄村 光太郎	みずほ銀行
		新井 彰夫	みずほ銀行
		十時 潤一郎	上田東短フォレックス
		田口 敬之	三井住友銀行
		平田 拓也	三井住友銀行
		安藤 友人	三井住友銀行
		時田 剛	三井住友信託銀行
		寺脇 一紀	三菱 UFJ 信託銀行
		吉原 信幸	三菱 UFJ 銀行
	バイサイド小委員会	委員長	田口 敬之
副委員長		井上 吉康	モルガン・スタンレーMUFG 証券
		小橋 暁史	みずほ銀行
		大澤 孝元	バークレイズ銀行
		高田 良博	日本銀行
		福田 京子	オーストラリア・ニュージーランド銀行
		平田 拓也	三井住友銀行
		田中 勇毅	ブラックロック・ジャパン
		大熊 貴之	野村アセットマネジメント
		松原 竜	大和証券投資信託委託
		明石 祐輔	三菱 UFJ アセットマネジメント
		倉形 幸司	金融先物取引業協会
		由良 啓輔	バークレイズ銀行
BCP 小委員会	委員長	井上 吉康	モルガン・スタンレーMUFG 証券
	副委員長	南 英明	みずほ銀行
	副委員長	高田 良博	日本銀行
		ミルズ 寿美子	CLS
		嶋田 雅文	日本銀行
		入場 裕明	日本銀行
		平田 拓也	三井住友銀行
		田村 大士	三井住友銀行
		柳澤 真梨恵	三菱 UFJ 銀行
		寺脇 一紀	三菱 UFJ 信託銀行
		谷 和衛	三菱 UFJ 信託銀行
	小川 洗一郎	三菱 UFJ 銀行	

常設小委員会	委員		所属
E・コマース小委員会	委員長	大澤 孝元	バークレイズ銀行
	副委員長	山崎 照永	EBS / CME Group
		山崎 哲夫	GMOクリック証券
		高田 良博	日本銀行
		山本 繁	JP モルガン・チェース銀行
		由良 啓輔	バークレイズ銀行
		井上 吉康	モルガン・スタンレーMUFG 証券
		時枝 祐次	みずほ銀行
		田口 敬之	三井住友銀行
		楠戸 省吾	三井住友銀行
		時田 剛	三井住友信託銀行
		提坂 健太郎	三井住友信託銀行
		倉形 幸司	金融先物取引業協会
		藤田 行生	SBI FX トレード
オペレーション 小委員会	委員長	寺脇 一紀	三菱 UFJ 信託銀行
	副委員長	小林 良平	JP モルガン・チェース銀行

(注) 敬称略(順不同)